

氏名(本籍)	後藤 隆臣 (東京都)		
学位の種類	博士(工学)		
学位記番号	甲第 367 号		
学位授与年月日	令和 2 年 3 月 18 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	Rationalization of mechanical bar joint system used in reinforced concrete wall members subjected earthquake force		
論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	島 弘
	高知工科大学	講師	鈴木 卓
	高知工科大学	教授	高木 方隆
	高知工科大学	教授	大内 雅博
	埼玉大学	教授	牧 剛志

## 審査結果の要旨

### 1. 論文の評価

建設現場の生産性向上が重要な課題となっている状況の中で、機械式継手を同一断面に設けた時の部材の変形性能ならびに継手単体の特性と部材性能との関係を明らかにしたことに新規性・独自性がある。

実験の方法については、この種の実験は寸法効果の問題が生じるが、本研究においては実物大の試験体が用いられており、結果の信頼性は高い。

論文の構成は、目的と結果が明確であって適切である。また、論文の文章表現、図表については十分に推敲されており、完成度は高い。

工学的有用性としては、本研究の成果は土木学会の「鉄筋定着・継手指針」の改訂で取り入れられる内容であると思われる。

以上のことから、本論文は高知工科大学の博士論文として認められると評価する。

### 2. 審査の経過と結果

- (1) 令和 2 年 1 月 8 日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5 名がその審査委員として指名された。
- (2) 令和 2 年 2 月 14 日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 令和 2 年 3 月 5 日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。